

# XTR7

## チルトローテータ 4-7トン

### 4〜7トンクラスミニショベル向け高性能チルトローテータ

2024年に発売されたSteelwrist第3世代チルトローテータは、クラス最高レベルのチルト構造、特許取得済みのワークツールロック安全機能「LockSense」、およびオンボード自動給脂システム「OptiLube」を搭載しています。これらは第3世代チルトローテータに採用された技術革新の一例に過ぎません。もちろん、Steelwristチルトローテータの特長である低い全高設計も継承しています。

XTR7は、4〜7トンクラスの油圧ショベル向けに開発されており、S40サイズのインターフェースを採用しています。ミニショベルは、一般的に造園工事、インフラ工事、資材搬送、切り株除去などで使用されます。XTR7チルトローテータは、ワークツールを360度回転させ、左右それぞれ45度チルトさせることができるため、油圧ショベルの作業効率を向上させます。さらに、クラス最高レベルの精度と操作性を実現しています。これにより作業が容易になるだけでなく、さまざまな高度な作業にも柔軟に対応できるようになります。

さらに、チルトローテータにSteelwrist SQ自動接続技術を組み合わせることで、柔軟性と生産性をさらに向上させることができます。油圧ショベル側にSQ40クイックカブラ、さらにチルトローテータ下側にもSQ40クイックカブラを装着したサンドイッチ仕様では、オペレーターはキャビンから降りることなく、油圧式ワークツールの交換や、必要に応じてチルトローテータの取り外しを行うことができます。チルトローテータのアタッチメント側カブラには、安全なワークツール交換を実現するFront Pin Hook (FPH) が採用されています。

#### OptiLubeで潤滑が容易に

オンボードのOptiLubeは、潤滑を自動的にを行い、一貫した最適なパフォーマンスを確保します。使用される潤滑剤はスチールリストチルトローテータ用に特別に開発され、摩耗を軽減し、寿命を延ばします。OptiLubeはチルトローテータの制御システムに統合されているため、潤滑性能を継続的に監視し、潤滑剤カートリッジの交換時期が来たときに警告を発することができます。

#### SQ/Open-S (OS®) アップグレードのためのモジュラー設計

チルトローテータは、国際的に急速に普及している対称標準 (S標準) に従うインターフェースで利用できます。モジュラー設計のおかげで、チルトローテータをSタイプからSQタイプにアップグレードすることが可能です。スチールリストSQは、油圧ショベルの油圧ワークツールを簡単に交換および接続するために使用される高性能自動油圧接続技術です。当然のことながら、SQ製品はすべてOpen-S (OS®) 規格に準拠しています。

#### ガイダンスアプリで簡単インストール

当社のモバイルアプリにより、チルトローテータのインストールプロセスが簡素化されます。ほとんどの言語で段階的な手順が記載されているため、セットアップが簡単で使いやすくなっています。

#### コントロールシステム

チルトローテータには、最新のQuantumConnectコントロールシステムプラットフォームが搭載されています。最先端のコンポーネントにより、チルトローテータの取り付けおよび操作がこれまでになく簡単になりました。このプラットフォームには、InstallMateアプリおよびQuantumConnectアプリが含まれており、高度な接続機能により常に最新の状態が保たれます。

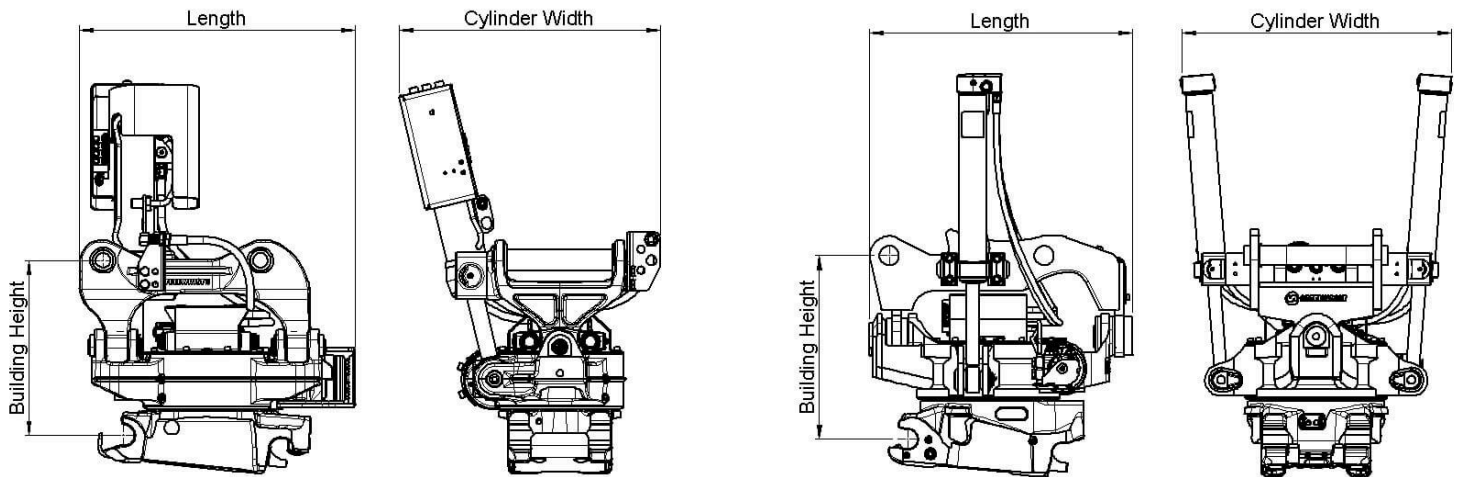
#### 到達範囲と機能が強化されたグリッパー (オプション)

下向きに角度を付けた3本指グリッパーは、油圧ショベルの届く範囲を広げます。改良された形状により、広い開口部と完全に閉まることを実現し、比類のない精度で対象物を処理します。シリンダーカバーを含む頑丈な設計により、あらゆる作業でスムーズな操作が保証されます。

Information

	XTR7	XTR7	XTR7	XTR7
マシンインターフェース	S40	SQ40	DF	DF
チルトローテータクイックカブラ	S40	SQ40	S40	SQ40
機械重量 [ton]	4-7	4-7	4-7	4-7
最大ブレークアウト力 [kNm]	45	45	45	45
重量 から [kg]	195	195	200	200
グリッパー重量 [kg]	47	47	47	47
構造物高さ [mm]	388	388	380	380
長さ [mm]				
シリンダー幅 [mm]				
高さ cylinder [mm]				
最大チルト角 [角度]	± 45	± 45	± 45	± 45
ティッパアームの最大幅 [mm]	-	-	200	200
ピン径 [mm]	-	-	35-50	35-50
ピン間距離 [計測単位-cc] [mm]	-	-	200-370	200-370
チルトトルク [kNm]				
回転トルク [kNm]				
グリッパー付き AUX油圧				
グリッパー無し AUX油圧				
つり上げフック [ton]	-	-	2	2
油量 [l/min]				
最大圧 [bar]				
AUXポート最高圧力 [bar]				
安全装置	FPH	FPH	FPH	FPH

\* 掲載数値は海外仕様の重量であり、日本仕様の重量とは異なります



# Work tools and Open-S – the world industry standard for fully automatic quick couplers



The Symmetrical Quick Coupler standard for excavators (the S-Standard) is an industry standard that was originally defined in 2006 by the Swedish Trade Association for Suppliers of Mobile Machines.

In order to achieve interchangeability the request for a standardized and well-defined interface is therefore apparent.

The Symmetrical standard, which is an open standard not controlled by one specific manufacturer, has since its inception grown to become a well-known coupler standard on the international market. The demand for quick couplers with integrated hydraulic couplings and electrical connectors, so called Fully Automatic Quick Couplers continue to grow.

As fully Automatic Quick Couplers have more intricate functions than a standard Mechanical Quick Coupler it is crucial that also non hydraulic work tools include certain features such as hardened shafts and cover plates etc. The purpose of this document is to define the technical dimensions for mechanical (non fully hydraulic) work tools to be used with Open-S Quick Couplers.



	L1 Width	L2 C. Width	L3 C-C	L4	L5 Thickn.	L6 Tol. area	L7 Tol. area	L8 Hardening	M1 Shaft D	M2 Radius	M3 Tol Area	M4	N1	N2	N3	N4 Offset	N5 Width	N6 Rec Th.	N7 Radius
<b>OS45M</b>	291,5 +1/-0,5	291 Min	430,25 +/-0,25	100 +/-2	40 Max	70	85	60 Min	45 F8	45 Max	90	30 +/-2	23,5 +/-1	65 +/-1	70 Min	8 +/-1	140 +/-1	8	15 Max
<b>OS50M</b>	271,5 +1/-0,5	271 Min	430,25 +/-0,25	100 +/-2	40 Max	70	85	70 Min	50 F8	45 Max	90	30 +/-2	26 +/-1	65 +/-1	70 Min	8 +/-1	140 +/-1	8	15 Max
<b>OS60M</b>	341,5 +1/-0,5	341 Min	480,25 +/-0,25	137,5 +/-2	45 Max	85	100	75 Min	60 F8	60 Max	120	30 +/-2	31 +/-1	70 +/-1	85 Min	6 +/-1	160 +/-1	10	20 Max
<b>OS65M</b>	441,5 +1/-0,5	441 Min	530,25 +/-0,25	152,5 +/-2	55 Max	90	110	90 Min	65 F8	65 Max	130	30 +/-2	33,5 +/-1	83 +/-1	90 Min	6 +/-1	230 +/-1	10	20 Max
<b>OS70M</b>	451,5 +1/-0,5	451 Min	600,25 +/-0,25	205 +/-2	55 Max	115	115	95 Min	70 F8	75 Max	150	50 +/-2	36 +/-1	90 +/-1	115 Min	7 +/-1	225 +/-1	12	30 Max
<b>OS70/55M</b>	551,5 +1/-0,5	551 Min	600,25 +/-0,25	205 +/-2	55 Max	115	115	95 Min	70 F8	75 Max	150	50 +/-2	36 +/-1	102 +/-1	115 Min	5 +/-1	320 +/-1	12	30 Max
<b>OS80M</b>	591,5 +1/-0,5	591 Min	670,25 +/-0,25	220 +/-2	65 Max	135	135	120 Min	80 F8	90 Max	180	50 +/-2	41 +/-1	110 +/-1	135 Min	8 +/-1	310 +/-1	15	30 Max
<b>OS90M</b>	751,5 +1/-0,5	751 Min	750,25 +/-0,25	225 +/-2	80 Max	155	150	160 Min	90 F8	110 Max	220	50 +/-2	46 +/-1	130 +/-1	155 Min	2 +/-1	400 +/-1	15	30 Max

Standardization by the Open-S Alliance. Revision A, May 17, 2021 | For more information please see [www.opens.org](http://www.opens.org)